

1926

史跡指定100周年記念企画展 なごやじょうあととならびにじんあと 名護屋城跡並陣跡 開催記念講演

史蹟指定百年・特別史跡 名護屋城跡と陣跡の価値

令和8年は名護屋城跡と周辺陣跡が史跡に指定されてから100年の節目に当たります。本講演では名古屋城(名古屋市)など全国各地の城郭をはじめとした史跡の保存・指定・整備に携わってきた歴史学者・服部英雄氏をお招きし、名護屋城跡の歴史や大正15年の史跡指定時の記録などを通じて、特別史跡「名護屋城跡並陣跡」の本質的価値に迫ります。

令和8年

10/11 (日)

13:30~15:00(入場13:00)

名護屋城博物館 ホール

事前申し込み不要・入場無料
(定員500名・先着順)



佐賀
県立

名護屋城博物館

SAGA PREFECTURAL NAGOYA CASTLE MUSEUM

〒847-0401 佐賀県唐津市鎮西町名護屋 1931 番地 3
TEL 0955-82-4905 FAX 0955-82-5664



講師

九州大学名誉教授

服部 英雄氏

はっとり ひでお◇1949年名古屋市生まれ。博士(文学)。九州大学名誉教授。特別史跡名護屋城跡並陣跡保存整備委員会副委員長。専門分野は日本中世史。

東京大学文学部助手、文化庁文化財保護部記念物課調査官を務めたのち九州大学大学院比較社会文化研究院院長、くまもと文学・歴史館長、名古屋城調査研究センター長などを歴任。2026年現在、長崎世界遺産学術委員会委員長、熊本県阿蘇世界遺産学術委員会委員。

主な著書に『景観にさぐる中世 変貌する村の姿と荘園史研究』(新人物往来社)、『地名の歴史学』(角川書店)、『河原ノ者・非人・秀吉』(山川出版社)、『蒙古襲来』(山川出版社)、『しぐさ・表情 蒙古襲来絵詞復原 永青文庫白描本・彩色本から一』(海鳥社)ほか編著書多数。